



避難所 トイレ チェックリスト <発災時>

段階別チェック項目	
第1段階	<ul style="list-style-type: none"> ○ 破損している等で使用できないトイレに「使用禁止」を貼る ○ 使用可能なトイレに携帯トイレを設置する ○ トイレ空間の安全を確認する(裏面 ※2 参照) ○ 使用済の携帯トイレを捨てる箱を設置する ○ アルコール手指消毒液を設置する ○ 災害用トイレの使い方等を書き、掲示する □ 既設トイレが和式の場合、簡易トイレ等を用いて洋式化する
第2段階	<ul style="list-style-type: none"> ○ 給水、排水設備、下水道・浄化槽設備、電気設備の確認をする ○ 災害用トイレは人目につきやすい場所に配置する ○ 照明は室内と室外の両方に設置する ○ 災害用トイレの使用方法および一時保管場所・収集積所への運搬方法を周知する ○ トイレは施錠できるようにする ○ トイレまでの動線は男女ごとに分ける ○ 既設トイレ以外のトイレの数が増える場合、男女別を基本とし、女性用トイレの数を多くする □ トイレの数を増やすために、カーテン等で仕切りをしてトイレ用のスペースを確保する □ 要配慮者用のトイレは避難所に近い場所に設置する □ 要配慮者用のトイレは、介助者も一緒に入れる広さを確保する
第3段階	<ul style="list-style-type: none"> ○ トイレの管理(相談対応等)は男女共同で行う □ トイレトペーパー、サニタリーボックス等を設置する □ 介助は異性が行うことも想定する □ 要配慮者が使用する場合は建物内のトイレを優先させる ♥ トイレに1人で行かないようにする ♥ 防犯ブザー等の設置または配布





段階別チェック項目

第4段階	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> トイレ掃除は定期的を実施し、その際は使い捨て手袋や作業着を着用する <input type="checkbox"/> 防虫、除虫剤を設置する <input type="checkbox"/> トイレ使用後の手洗い・手指消毒を周知する <input checked="" type="checkbox"/> トイレ周辺に不審者がいたら管理者に伝える
第5段階	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> トイレに行くことを促すための声かけを行う <input type="radio"/> トイレは寒くない(暑くない)ようにする <input type="checkbox"/> 洋式便座の段差が高い場合には足踏み台を用意する <input type="checkbox"/> 要配慮者や介助者も含め被災者に意見を求め、安全性や快適性を高めることに努める <input type="checkbox"/> 必要な備品(トイレットペーパー、生理用品、サニタリーボックス、ハンドソープ、アルコール手指消毒液、清掃道具など)が不足していないか確認する <input type="checkbox"/> 車いすの移動の際など、介助者以外の避難者にも手助けしてもらえるよう援助の周知を行う <input type="checkbox"/> トイレの混雑状況を把握し、必要に応じて災害用トイレを増設する

- 避難者全体に関するもの
- 要配慮者全体に係るもの
- 女性や子どもに特化した内容



※2 安全確認の点検箇所と内容



安全確認の内容	○/×
① 天井材の破損(天井仕上げボードの剥落、ひび割れ、落下等)	
② 照明器具の変形等の異常	
③ 窓ガラス及び周辺の割れやガタつき	
④ 壁面(モルタルやタイル等)の剥落、欠損、ひび割れ、浮き等	
⑤ パーティションの変形やガタつき	
⑥ 給排水管やタンク、便器・便座等に破損等の異常	
⑦ トイレ間仕切り、パイプスペースに欠損、ひび割れ等	
⑧ その他	

NPO 法人日本トイレ研究所
<http://www.toilet.or.jp/>(メイン)
<http://www.toilet.or.jp/toilet-guide/>(災害用トイレガイド)
 ※本チェックリストは、文部科学省「学校施設の防災力強化プロジェクト(平成28年度)」で作成いたしました。

